

仕事と介護・がんの両立支援

株式会社ドクタートラスト
保健師

今回の研修の目的

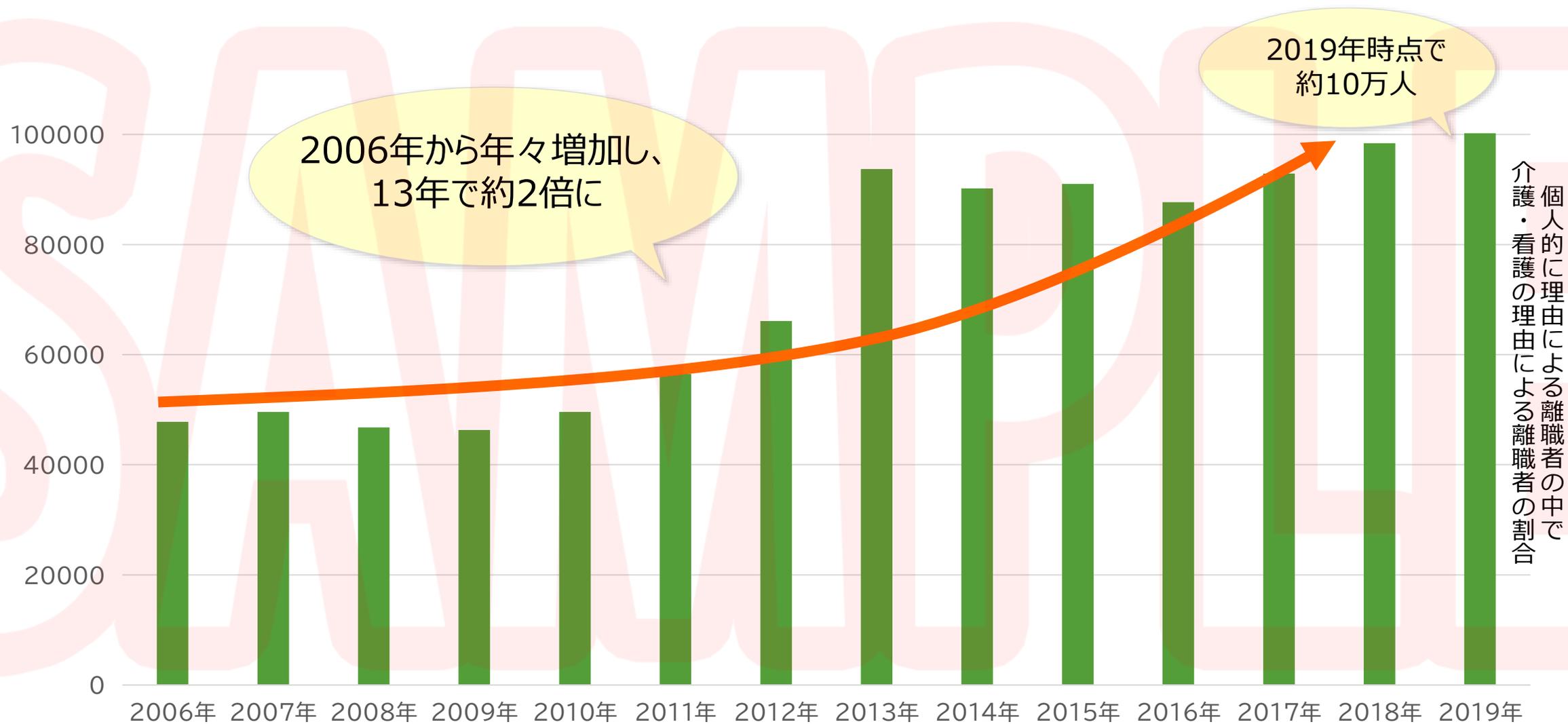
1. がんや介護による勤務継続への影響を理解できる
2. がんや介護と仕事を両立している人とのコミュニケーション方法を理解できる

目次

1. 介護との両立の現状
2. 介護の実際
3. 両立支援制度
4. がんについて
5. がん検診について
6. コミュニケーションの注意点



介護による離職者数の増加

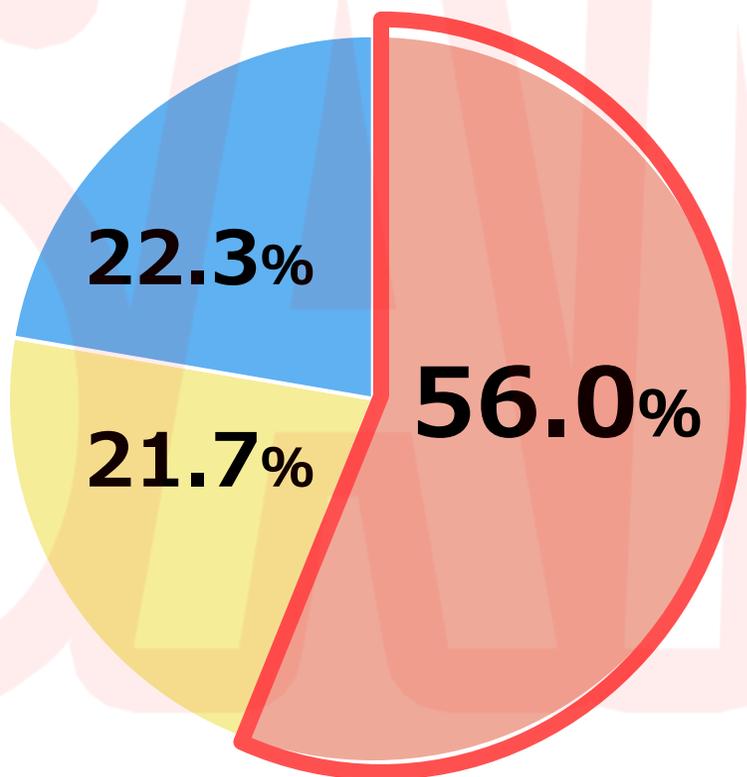


厚生労働省「雇用動向調査」より作成

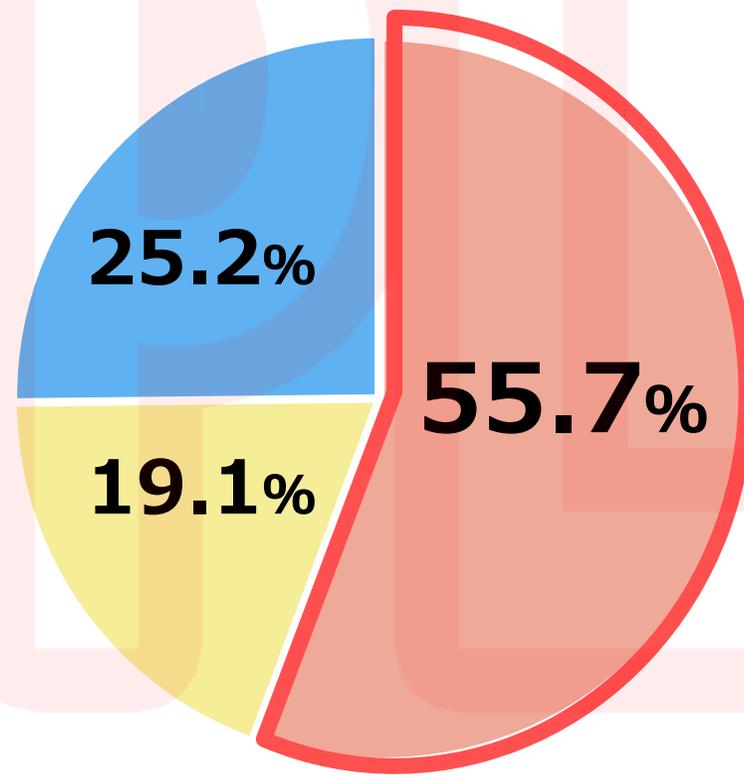
離職した半数以上の人々が「働き続けたい」

手助・介護を機に仕事をやめた時の就業継続の意向

男性 (n=525)



女性 (n=469)



- 続けたかった
- 続けたくなかった
- わからない

厚生労働省委託事業「平成24年度仕事と介護の両立に関する実態把握のための調査研究事業報告書」をもとに作成

介護の時間の流れ

	混乱期	負担期	安定期	看取り期
介護者の状態	異変の発覚	介護初期	症状進行期	終末期
介護の場所	在宅 病院	在宅 介護施設	在宅 介護施設	在宅 病院
起こりうる 出来事	介護申請 主介護者決定	進行の抑制 住環境の整備	施設探し 入居	延命治療 遺産相続

介護保険サービスとは

介護保険法による制度

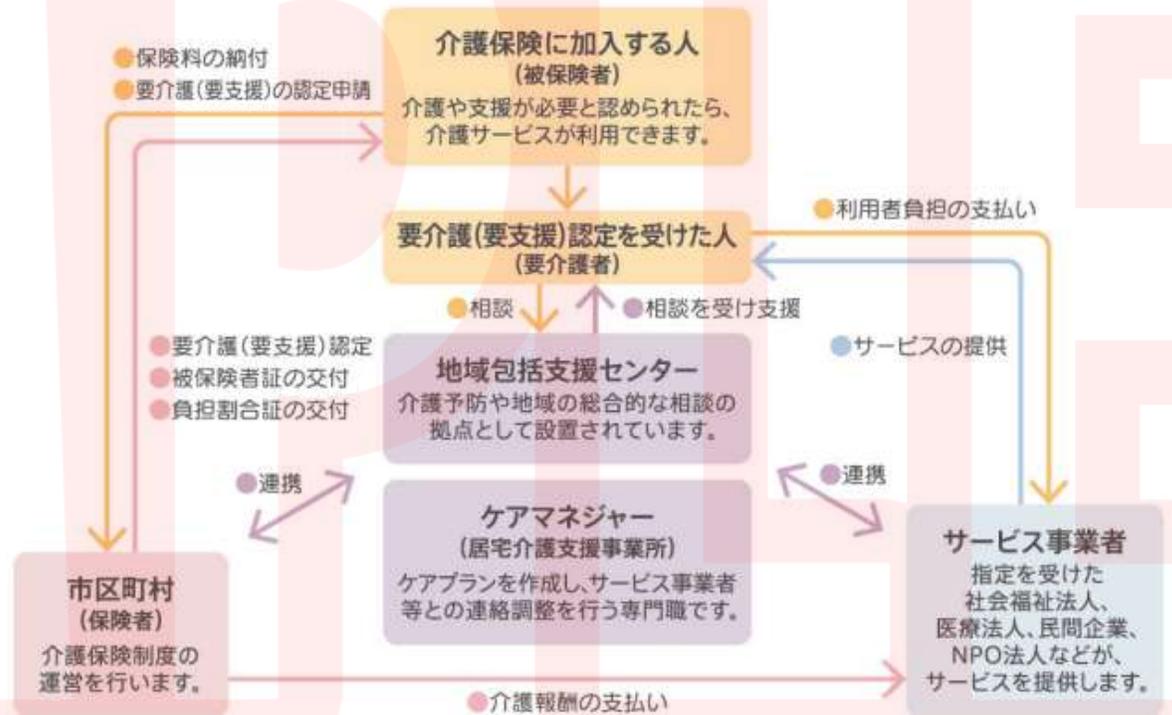
40歳以上 介護保険に加入

65歳以上：第1号被保険者

原因を問わず介護や日常生活の支援が必要になったとき、市区町村の認定を受けてサービス利用ができる

40歳以上65歳未満：第2号被保険者

加齢が原因とされる病気（特定疾患）により介護や日常生活の支援が必要になったとき、市区町村の認定を受けてサービス利用ができる



出典：平成30年度 厚生労働省企業のための「仕事と介護の両立支援ガイド」

実際に両立していくために

要介護者の状況

家族や近所の状況

自分の働き方

介護に関する
行政等のサービス

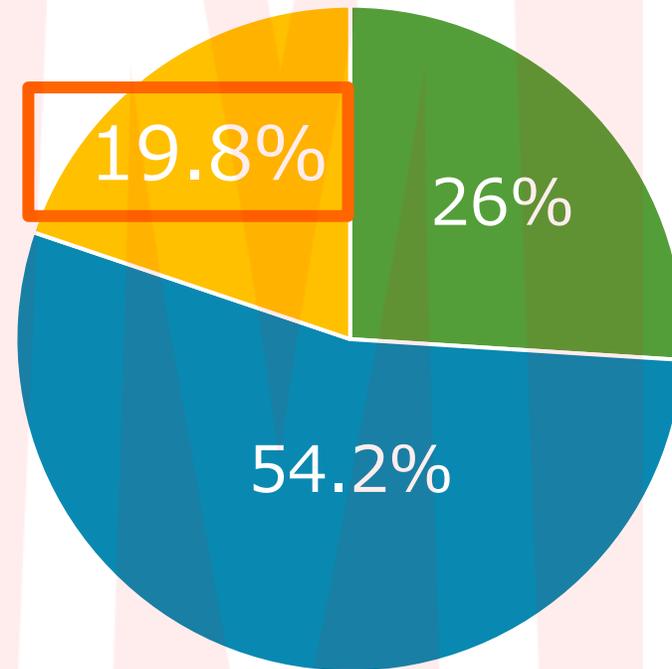


職場で使える
両立支援制度

このふたつの最適な組み合わせで両立環境を整える

「がん」診断後約20%の人が離職

「がん」診断後の患者さんの就労状況



- 特に退職や休職はなかった
- 休職・休業はしたが、退職はしなかった
- 退職・廃業した

出典：厚生労働省委託事業「平成30年度患者体験調査報告書」（国立がん研究センターがん対策情報センター）

労働者の
高齢化

がんは不治の
病から長く付き合
う病気へ

入院治療から
通院治療へ

今後、治療しながら働く人が増えていく

5大がん検診とは

▶厚生労働省
がん検診マニュアル
推奨がん検診

- ①がん死亡率が低下するか
- ②利益が不利益を上回るか

胃がん

肺がん

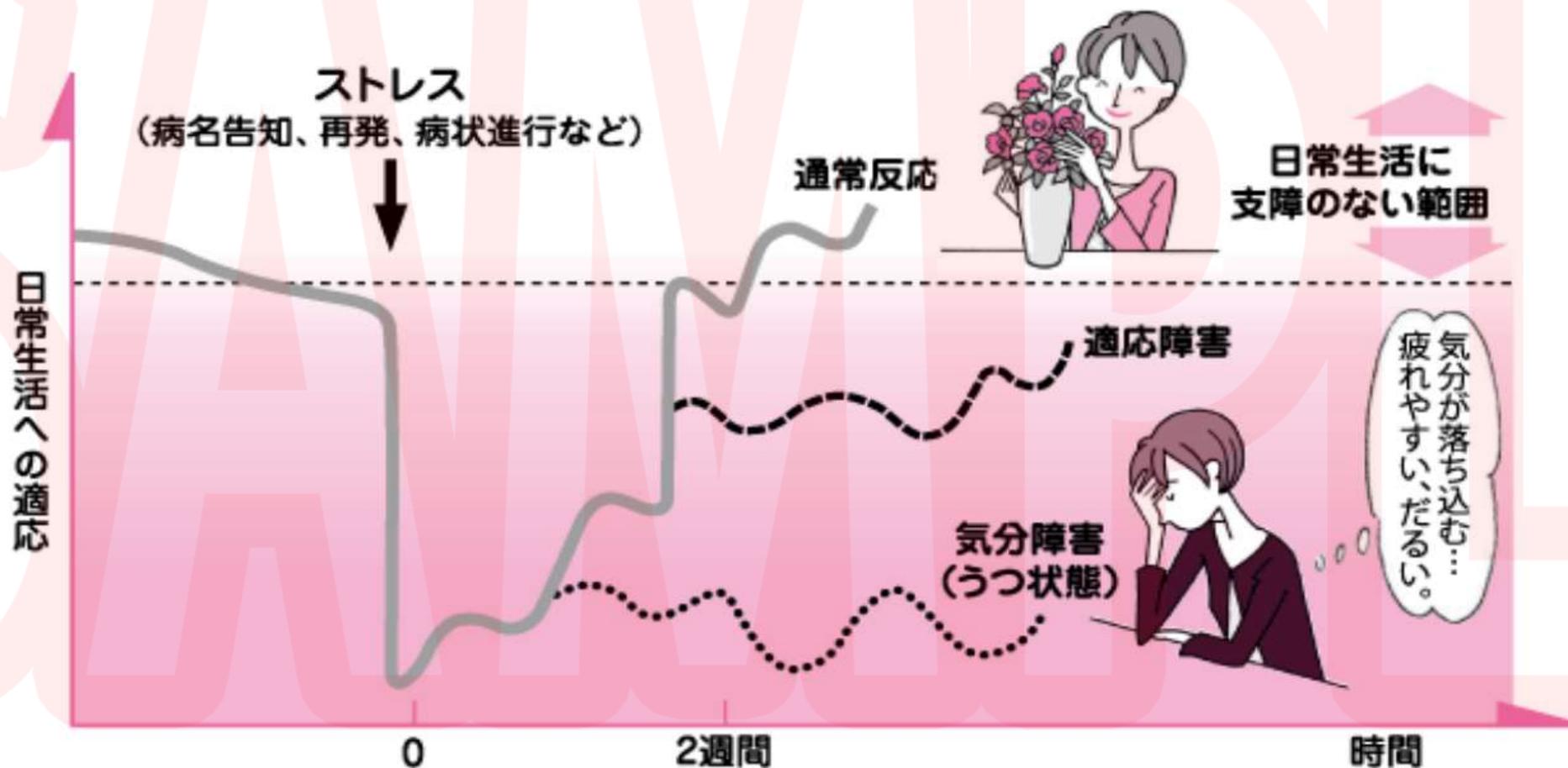
大腸がん

子宮頸がん

乳がん

安易にやめない・支援を求める申し出を

図：ストレスへの心の反応



「患者必携 がんになったら手取るガイド」(国立がん研究センターがん対策情報センター)より